

平成 30 年度決算総括質疑の概要

令和元年第 3 回二宮町議会定例会

日時 令和元年 9 月 13 日 (金) 午前 9 時 30 分より

No.	質問議員	質問の概要 (本人の提出原稿)
1	渡辺 訓任議員	<p>平成 30 年度決算案について、以下の点について所見を問う。</p> <p>村田町長が就任して、平成 30 年度は区切りの 4 年目であった。また、地方創生事業が本格的にとりくまれることとなった期間と重なる。総合計画の 4 つの基本目標に沿って、まちづくりがどのようになされてきたか、また、今後の方策について問う。</p> <p>1 「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」</p> <ul style="list-style-type: none">・新庁舎整備については、基本構想・計画については案に留まり、基本設計に進めない状況である。大災害が起きた場合の業務継続についても含め、今後どのようにすすめられるのか。 <p>2 「二宮の強みを活かした魅力あるくらしを提案し、新しい人の流れをつくる」</p> <ul style="list-style-type: none">・小中一貫校の設置推進の研究会を立ち上げ、教育委員会からは「小中一貫教育校設置計画(案)」が示された。一方で一色小学校に学校運営協議会を立ち上げ、コミュニティスクールを立ち上げた。小中一貫教育の実施には様々な問題も指摘されるが、今後の展開をどのように考えるのか。・コミュニティスクールを発足させて、どう評価しているか。・空家対策は一定の進捗があるが、現状の認識とこれからの取り組みは。・開発手続きの条例化、墓地開発許可の町業務化をすすめたが、ミニ開発は続く状況である。環境保全について今後の方向性はどのようになるか。 <p>3 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」</p> <ul style="list-style-type: none">・切れ目のない相談体制づくりや、病後児保育の開始など、子育て支援策についての前進はあった。子育て世代に対しては経済的支援が必要では無いか。小児医療費助成での所得制限の撤廃や 18 歳までの拡大、国保税の多子世帯でのこども向けの均等割の減額などについてはどのように考えるか。 <p>4 「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」</p> <ul style="list-style-type: none">・町経済を活性化させるには、町での雇用創出と資金の循環が鍵になる。これらについて、4 年間の変化をどう評価しているか。・町内・地域内事業者の受注機会の拡大にどう取り組まれたか。地域経済の活性化という課題での近隣町村との協力は進んだか。

2	一石 洋子議員	<p>「生活の質の向上と定住人口の確保」 「環境と風景が息づくまちづくり」 「交通環境と防災対策の向上」 「戦略的行政運営」</p> <p>以上第5次二宮町総合計画「人と暮らし、文化を育む自然が豊かな町」の実現に向けたまちづくりの4つの方向性に照らして以下の質問をする。 ①二宮町ならではの生活圏域のデザインを問う ②安心して一人一人が成長できる学校環境の創出の方策について ③二宮町はSDGsにいかに関与するのかが ④未来に向けて協働のまちづくりに相応しい新庁舎建設事業を問う</p>
3	小笠原 陶子議員	<p>平成30年の予算は、村田町長1期目の最後の予算であり、31年度に向けて布石を打った予算だったと思います。</p> <p>現在、懸案になっているラディアン裏に新庁舎を建てるという構想の下、予算を組みました。その30年度予算は可決され、今反対している議員の中に賛成している議員もいる予算でした。</p> <p>平成30年度は二宮町の第5次総合計画の中期3年目として、基本構想に掲げる将来像「人と暮らし、文化を育む自然が豊かな町」の実現に向け4つの方向性を打ち出し、事業を行いました。</p> <p>「生活の質の向上と定住人口の確保」 子育て支援は切れ目のない支援を打ち出し、努力してきたと思う。保健センターを核として多くの事業を打ち出してきている。今、気になるのは子どもの虐待である。虐待には親が暴力をふるうだけでなく、ネグレクトや性的虐待も含まれる。現状と対策はどうか。ここで確認したいのは一般の方のメタボ対策や、未病センターの利用について。30年度がどこまで成果を上げることができたか伺う。この、「生活の質の向上と定住人口の確保」だが、村田町長の施政方針では、自殺対策計画を策定すると、そのことだけが書かれている。30年度に計画はできたが、この自殺対策は自殺したい本人だけでなく、周囲の方との連携で対策を勧めねばならない。この通告の締め切り前がちょうど、夏休みが終わり新学期が始まり、昨日NHKニュースで中学2年生がマンションから飛び降りたと報道があった。自殺対策の中で、特に子供の自殺は一人たりとも出してはならない。町は「二宮町いじめ防止基本方針」も平成28年3月に策定している。現状と対策を伺う。</p> <p>「環境と風景が息づくまちづくり」です。</p> <p>私は、30年度に梅沢海岸があまりにも汚いので、一般質問しました。30年度は海岸のゴミの撤去のために142万8千円支出しています。たかがゴミ、されどゴミ。たまれば税金を使って処理することになります。漁業区域は漁業者と連携し美化に励むことが期待されるが対策はどうなっているのか。また、環境といえば、衛生費の環境総務費、環境保全対策費です。平成30年は、環境保全費として、4億4046万4千円の予算の中、決算は4億2820万5千円となっています。ごみの広域化で平塚市、大磯町との連携で順調に処理できていると思います。</p> <p>ごみ減量化再利用事業では、ごみの削減のための会議も開き減量の啓発を進めているが、容器包装リサイクル法にのっとって樹脂を分別しているが、今だ理解しきれていない。また、樹脂類については海洋汚染が世界的に大きな問題となっていることや、樹脂のリサイクルのため中国に輸出していたものが、中国の法律が変わり輸出できなくなっている。今後、廃掃法の規定も変わると予測され、樹脂のものを買わない、使わない、捨てない、という町民意識を持っていただく必要がある。町の考えはどうか。</p> <p>「交通環境と防災対策の向上」</p>

		<p>町は決算の概要に、中堰橋や上北根橋を整備したとあるが、今後町のインフラは老朽化が進む一方である。 順次改修や整備を進めていくわけだが、理解を求める努力が必要だがどう取り組んでいるのか。</p> <p>最後に、 「戦略的行政運営」 働き方改革である。町の職員残業未払いについては、長い間の懸案だったが、村田町長が歴代の町長の後始末をする形で、マスコミ対応し、改善した年だった。 今、社会的に問題になっている、臨時雇用の働き方を伺う。 私は、今の日本は非正規雇用が多すぎて、安定した生活のできない人が増え、国の安全も脅かされかねないと思っています。人を安く使うだけでなく、仕事に応じた報酬を支払うべきと考える。特に、生きがい事業団に任せていいのかということと、働く体力気力のある方は高齢でも雇用すべきと考えるがどうか。</p>
4	善波 宣雄議員	<p>平成 30 年度は、二宮町総合戦略の計画期間である 5 か年の 4 年目であるとともに、第 5 次二宮町総合計画中期基本計画の最終年度となることから、町長は、これまでに取り組んできた施策をしっかりと進め、10 年、20 年先を見据え、町民の皆様が安全に安心して住み続けられるよう、事業を展開していくとありますが決算を迎えた今議会において町長自らの評価を含め、今後の考えを伺うとともに以下の点について所見を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町長が考える今後の町づくりについて 2. 公共施設（地域集会場）の統廃合について 3. 町道整備、通学路、歩道整備について 4. 観光事業の観点から来年開催の東京五輪について 5. 移動町長室について

備考：2 番目の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。